

風疹抗体検査と予防接種



～風疹排除には君たちの行動が必要なのだ～

2012年ごろから国内の若い男性を中心に風疹が流行するようになりました。

風疹は風疹ウイルスによっておこる急性発疹性感染症で、2～3週間の潜伏期間のち発疹、発熱、リンパ節の腫れなどがみられます。風疹ウイルスは飛沫感染（唾液のしぶき）などによって他人にうつります。妊婦、とくに妊娠初期に風疹にかかると赤ちゃん（胎児）にも感染し、耳や目、心臓の機能障害、発達障害などの「先天性風疹症候群」にかかってしまうことがあります。

風疹の予防接種は現在、予防接種法に基づく麻疹風疹（MR）ワクチンを、第1期（1歳児）、第2期（小学校入学前1年間の小児）に投与しています。妊娠中は予防接種は受けられないため、今後妊娠希望や妊娠する可能性の高い女性とそのパートナーの男性を対象に富山県では無料の風疹抗体（血液）検査を行っています。対象の詳しい条件などは、富山県ホームページ（「富山県 風しん」で検索）をご覧ください。妊婦のパートナーである男性のうち、昭和54年4月1日以前の生まれの方は、子供のころに風疹予防定期接種の対象外だったため、過去に風疹にかかったか医療従事者として予防接種を受けていなければ風疹の免疫力がっていない可能性があります。

厚生労働省では今年度、令和元年から3年間に限り、子供のころに予防接種の機会がなかった昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性全員に無料で抗体検査が受けられるクーポンを（住民票に基づいて）市町村が発行します（ただし昭和47年4月1日以前生まれの方は令和2年度にクーポン発行予定）。

検査は指定の医療機関や健診機関で受けられます。抗体検査で抗体価が低いか陰性だった場合、その結果と自治体発行の予防接種クーポンがあれば無料で予防接種が受けられます。無料クーポンについて詳しくは各自自治体のホームページをご覧ください。

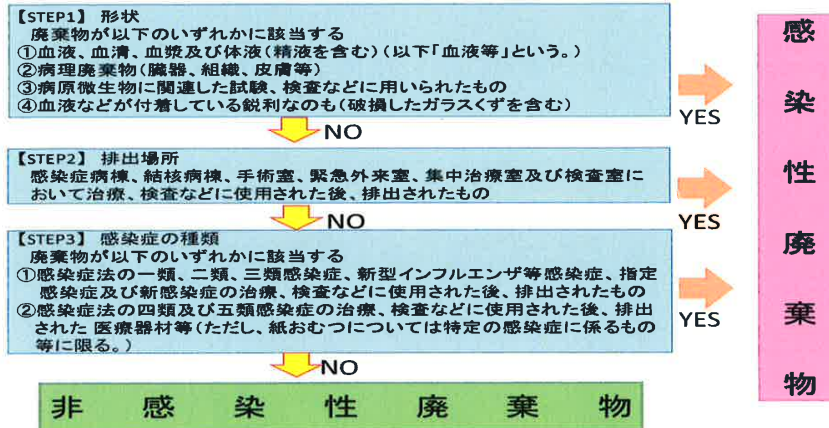
当院の職員はほぼ全員が過去（入職時または公設民営化時）に風疹の抗体検査を受けていると思いますが、特に上記の出生期間などの条件に該当する男性職員はこれまで予防接種を受けていない可能性があります。是非この機会に無料クーポンを利用して抗体検査や予防接種を受けるようお勧めします。当院でも（富山、石川の住所を問わず）クーポンは使用可能です。抗体検査・予防接種を受けた職員は人事課までお知らせ下さい。（記：感染対策室室長 井口晶晴）



感染性廃棄物の廃棄方法

＜感染性廃棄物とは＞医療関係機関などから生じ、人が感染、若しくは感染する恐れのある病原体が含まれ、若しくは付着している廃棄物又はこれらの恐れのある廃棄物をいいます。分別は「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」を基本にしています。

感染性廃棄物の判断フロー



廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル：環境省 より抜粋

＜感染性廃棄物表示方法＞ バイオハザードマーク（全国共通）をつける

	橙色 血液が付着したガーゼなど		黄色 針、メスなど鋭利なもの		赤色 血液などの液体
--	--------------------	--	-------------------	--	---------------



病棟や放射線室などに新たに配置



当院では基本なし汚水槽に廃棄または凝固剤で固め耐貫通性容器に入れ密封する

日本感染管理ネットワーク（ICNJ）学会参加報告

3階東病棟 感染管理認定看護師 南 康一
2019年5月24日・25日に徳島県徳島市のあわぎんホールで開催された日本感染管理ネットワーク（ICNJ）学会に参加しました。当日は五月晴れでした。最初はディズニーランド教育担当者の講演で「患者さんから「有難う」と言ってもらうために何が一番大事か」や「仕事とは相手の心を動かし行動を変えるためのコミュニケーションである」といった仕事に対する心構えを教わりました。その他のセッションでは手指衛生に対する取り組みや職員の皆さんに説明するときの工夫点など、認定看護師仲間が実践している点を多く学ぶことができました。自分が病院で感染防止対策活動をおこなう際にも、今回の学習を生かして、少しでもわかりやすい方法で感染防止を説明するように心がけたいと思いました。